

「日本に出逢う～ベトナム北中部地域」挨拶 (2019年4月25日(木) 於：ゲアン省ヴィン市)

- ・ ヴオン・ディン・フエ副首相
 - ・ ブイ・タイン・ソン筆頭外務次官をはじめとする、ベトナム中央政府の幹部の皆様
 - ・ グエン・フック・ヴィン・ゲアン省党委書記を始めとするベトナム北中部6省及びエンバイ省の指導者の皆様
 - ・ ご列席の皆様
- まず初めに、日本政府を代表して、本セミナー開催に御尽力いただいた全ての関係者の方にお礼を申し上げます。
- また、本セミナーは、地方経済の発展を目指すフック首相の意向にそって開催されていますが、このような重要なセミナーのパートナーとして日本を選んでいただいたことに、心より感謝を申し上げます。
- 本日、日本側からは大使館、JICA、JETRO、JNTO（日本政府観光局）、国際交流基金、JASSO、ベトナム日本商工会議所の代表に加え、日本企業52社の代表、総計約150人が参加しています。また、静岡県、岐阜県からの代表の方にも来ていただいております。
- 日本では、4月30日、今上陛下が御退位され、5月1日には新天皇陛下が即位されます。新たな「令和」の時代が始まりますが、「令和」は美しい調和という意味です。ちなみに、天皇皇后両陛下の最後の公式訪問国はベトナムであり、このことは、日本がいかにベトナムを重視しているかを表しています。

- 日本と同様に、ベトナムも現在、歴史的転期を迎えています。現在、ベトナムは発展のエネルギーに満ち満ちており、多くの都市の街並みは、日々変化をしています。同時に深刻な課題も浮上しています。特に、所謂 65%問題や汚職捜査の影響から、政策決定の遅延や公共工事費の支払い遅延などが発生しており、とても心配しています。ベトナムの中央政府並びに地方政府の指導者の皆様には、これまで築き上げられた「国際的信用」を大切にしていきたいと思えます。
- 日本とベトナムは多くの戦略的利益を共有しています。日本は、ベトナムが現在の歴史的チャンスを実際に活かして、持続的発展を達成し、一層強く豊かな国になっていただきたいと心から願っています。そしてそのことが、東アジア地域の安定と繁栄にとって、とても重要であると考えています。そのために、日本は「広範な戦略的パートナー」として、ベトナムとの連携を一層強化したい考えです。また、CPTPPの発効は、日本とベトナムが協力して達成した成果だと考えます。
- 日越関係の現状を見てみたいと思えます。日越両国指導者間の相互信頼は非常に厚く、指導者間の交流は今年も間断なく行われています。5月から6月にかけて、フアン・ビン・ミン副首相兼外相、フック首相の訪日が検討されています。また、10月の「即位の礼」へのベトナム代表の参加も期待されます。日本からは、5月第一週、岩屋防衛大臣が訪越予定です。
- 地方間交流に目を移すと、日越間で地方自治体間の覚書・協定は、大使館が把握しているものだけでも64件あります。その内、過去5年間に締結されたものが42件と約7割を占めており、地方自治体間の連

携・協力は、最近急速に進んでいると言えます。北中部 6 省をみますと、トゥアティエン・フエ省とフエ市は、9 つの協力協定（うち 5 件は 1 年以内に実現）を有し、ゲアン省は 1 つの協力協定を有しています。

- 国民レベルの交流は、強い相互親近感を基礎に、経済、文化・スポーツを含めあらゆる分野での交流が着実に拡大・深化しています。

- ベトナムにおける日本を見てください。例えば、日本の対越直接投資（認可ベース）は、一昨年 91 億ドル、昨年 86 億ドルと非常に高いレベルとなり、2 年連続で国別投資は第 1 位でした。ベトナムに進出している日本企業数はこの 5 年間に、約千社増え、現在約 3,200 社となっています。日本人訪越者人数は、昨年約 83 万人で、7 年前の約 2 倍となりました。
（先ほどフエ副首相から指摘があった）南北高速道路、南北高速鉄道、ハノイ・ビエンチャン間高速道路の建設は、日本も大変重視をされており、ぜひ、この地方の連結性強化を推進していただきたいと思います。

- その一方で、日本企業の進出先、日本人観光客の行き先は、ハノイ、ハイフォンを中心とした北部、ダナンを中心とした中部、ホーチミンを中心とした南部に集中しているのが現状です。この現状を少しずつ変えていきたいと思います。

- 日本におけるベトナムの重要性は、この数年で格段と大きくなりました。特に、少子高齢化・労働力不足に直面する日本経済はベトナムの若者達に支えていただいています。日本に居住するベトナム人は、昨年末で約 33 万人となり、直近 7 年間に 7 倍以上増加しています。

- 北中部地域からも、技能実習生や留学生として、沢山の若者が日本に
来られています。しかしながら、悪徳ブローカーや送り出し機関、悪
徳日本語学校が、若者をだましてお金を巻き上げ、多くの借金を負わ
せて訪日させ、犯罪（80%が窃盗）に追い込まれるケースが残念なが
ら増えています。日本において、ベトナム人の犯罪が増加し、3年前に
中国を抜いて国別で1位となっています。日越両政府は、夢を持って
訪日する「若者達の人生」を守る必要があります。
- 既に、幾つかの省では悪徳ブローカーなどの取り締まりを強化いた
だいていますが、更なる協力をお願い致します。日本においても、悪徳
企業や日本語学校に対する取り締まりを強化しています。
- 今回のセミナーにおいて、日本人の参加者がベトナム北中部地域の魅
力と発展の可能性を知っていただくことを通じ、北中部地域への投資
や日本人観光客の増加に結び付く契機になること、また、両国の悪徳
ブローカーなどからベトナムの若者を守る協力強化の契機になること
を心から期待致します。
- 最後に、本セミナーの成功、日本とベトナム北中部地域との関係緊密
化、日越関係全体の一層の発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。
ありがとうございます。

(了)